

# 「東北圏における救急医療体制の問題分析等」に関する調査

## 1. 調査実施主体

厚生労働省東北厚生局企画調整課・医事課

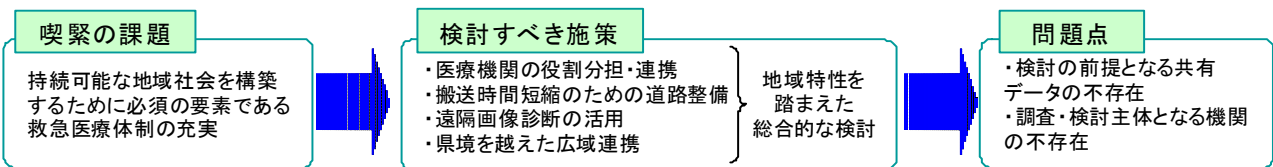
国土交通省東北地方整備局企画部企画課

## 2. 調査の概要

東北圏では、10万人あたり医師数が全国平均を大幅に下回っていること、第三次救急医療機関の60分到達圏から外れる中山間地等が多く存在すること等、地域医療は極めて厳しい環境にあることから、救急医療の充実を図る必要がある。

本調査は、医療資源等の共有データベースを作成するとともに、データベースの検証により医療機関の役割分担・連携、搬送時間短縮、IT活用（遠隔画像診断等）、県境を超えた広域連携等の検討を行い、東北圏の救急医療の充実のための制度設計を支援する。

## 3. 調査内容の詳細



問題意識を共有するプロジェクトチームが主体となり、関係各所に散在しているデータを編集・整理  
プロジェクトチーム：東北厚生局、東北地方整備局、東北経済産業局、東北総合通信局、各県・政令市等

### 第1回検討会議：医療資源のデータに関する現状認識整理

- 散在しているデータのデータベース化
  - ① 救急患者数の推移、搬送された原因と重症度、受入要請の回数
  - ② 医師の配置や診療科別の体制
  - ③ 病症の回復期やリハビリ等の後方的受け皿
  - ④ 救急搬送時間や搬送距離等
  - ⑤ 専門医の養成や確保に向けた研修状況
  - ⑥ 遠隔画像診断の活用状況
  - ⑦ 救急医療に対する住民意識の向上に向けた適正受診等の普及啓発
- 【厚生労働省】

- 救急医療の搬送支援調査
  - ① 救急医療支援に必要なヘリポート調査及び交通アクセスのあり方調査
  - ② 救急搬送時間の短縮につながる高規格道路等の活用方策調査
  - 遠隔医療等の支援調査
  - ① 救急医療情報システムや遠隔医療の支援、活用に向けた光ファイバ網の調査・検討
- 【国土交通省】

- 現地調査
  - ・東北圏の医療機関等が抱える問題や広域連携の実現可能性検討
- 【厚生労働省・国土交通省】

### 第2回検討会議：データベースの検証による課題整理

### 第3回検討会議：抽出された課題分析に基づき、救急医療向上のための提言をとりまとめ



(ドクターヘリ)



(救急車退出路)

## 4. 成果等について

重症度に応じた医療機関の役割分担・連携、医療資源の適正利用、第三次救急医療機関へのアクセス性向上等、地域の実情に応じた広域的な救急医療体制づくりの支援。